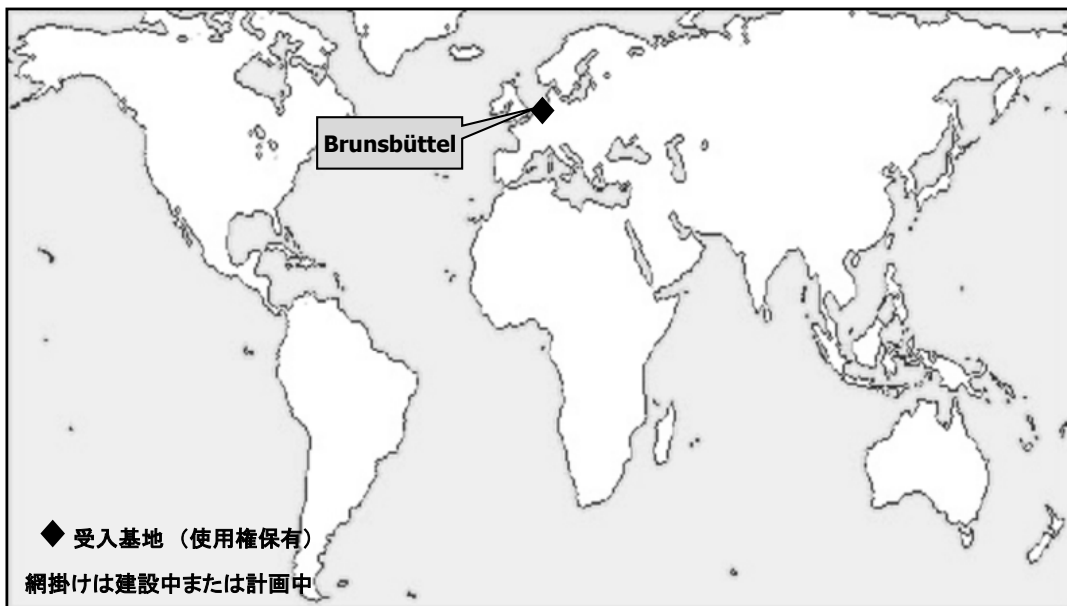


## 27. RWE

## (1) 企業概要

RWE は、本国ドイツを中心にオランダ、イギリス、チェコ等で幅広く、ガス・石炭・原子力・水力・再生可能エネルギーによる発電、およびエネルギー関連のトレーディングを行う総合エネルギー企業である。2016 年に再生可能エネルギー、送電、小売の 3 事業を担当する新たな子会社 Innogy SE を設立した。RWE は 2018 年 3 月に E.ON との間で資産の戦略的交換を発表した。取引の一環として、2019 年 9 月に Innogy SE の株式の 76.8% を E.ON に売却し、E.ON の株式の 16.67% の株式と E.ON の子会社が持つ再生可能エネルギー事業と原子力発電事業の一部株式を受け取った。そして 2020 年 7 月、Innogy SE の再生可能エネルギー事業、ガス貯蔵事業、オーストリアのエネルギー企業 Kelag の持ち分の移管を完了した。これによって、RWE はドイツ最大、欧州でも屈指の発電事業に特化したエネルギー会社となると同時に、以前手掛けていたガス・電力の小売事業と配電事業はすべて E.ON に移管された。また、子会社 RWE Supply & Trading を通じて、欧州、アジア、中東で LNG トレーディングへ積極的に取り組むとともに、電力・石油・天候デリバティブや再生可能エネルギーを含む幅広いコモディティ取引に携わっている。Innogy 資産の売却を考慮した、RWE の 2019 年のガス販売量は 56.6 TWh (5.1 Bcm) であった (2018 年比 15.5% 減)。

RWE の LNG 受入基地図



## (2) LNG 関連

RWE は 2011 年に操業を開始したオランダの Gate LNG 受入基地でキャパシティー使用権を保有していたが、2015 年 10 月付で同使用権を Shell に譲渡した。この譲渡の一環として、RWE は譲渡した Shell の容量に不定期的な利用権を維持した。

#### IV. 主要企業別 LNG 事業動向

2018年9月、RWEはドイツ北部BrunsbüttelにLNG基地を計画するGerman LNG Terminal GmbHと、同基地容量の相当な部分の長期利用に関して基本合意(HOA)を締結した。最終投資決定(FID)は当初から1年遅れ、2020年中を目指している。また、両社は2020年6月に再生可能エネルギーから生産された水素の使用を促進するための協定を結んでいる。

2018年11月、RWE Supply & Tradingは東京ガスと「相互協力に関する協定」を締結した。両社は、原料調達等を中心とした分野において連携強化を図るほか、東京ガスが米国から調達するLNGに関し、「LNGの輸送効率向上を通じたコスト削減を目指す枠組み」の実現を目指すことに合意した。

#### RWEが出資またはキャパシティー使用权を保有する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
ドイツ	Brunsbüttel	German LNG Terminal GmbH (Gasunie, Oiltanking, Vopak)	590	2022年末 (計画中)

#### RWEのLNG契約

輸出国	プロジェクト	契約期間 (契約年数)	契約数量 (万トン/年)	受渡条件
カタール	Qatargas 3(Train 6)	2016-2023年(7年半)	最大110	DES
ノルウェー	Hammerfest LNG	2010年-ガス生産停止	6-12	FOB
アンゴラ	Angola LNG	N.A.	N.A.	N.A.
米国	主にCorpus Christi	2020-2022年(2年)	30-60	FOB
Woodsideによる複数の供給源(ポートフォリオ)		2018-2020年(2年)	最大12カーゴ	DES
		2017-2022年(5年)	30-60	DES
		2020年-4年未満	30-60	DES
複数の供給源(ポートフォリオ)		2018年-4年未満	105	DES/FOB

#### (3) 今後の戦略

RWEは上述のE.ONとの資産交換によって欧州有数の再生可能エネルギー事業者となった。発電に関してはオールラウンダーであるが、早期に石炭発電を脱却し、再生可能エネルギーに対して一層力を入れていく予定である。2040年にはカーボンニュートラルな発電を実現する目標を掲げ、風力発電、太陽光発電、エネルギー貯蔵に対しても毎年数十億ドルを投資するとしている。一方で、ガスによる従来型火力発電は再生可能エネルギーの変動調整の観点から重要な電源であるとして、ポートフォリオを維持する方針である。

RWEはRWE Supply & Tradingを通じて発電所の燃料調達や取引事業を(電力、ガス、石炭、石油)欧州中心に行っており、最近ではニューヨーク、シンガポール、ムンバイに加え2020年には東京にもオフィスを開設した。電力取引市場に加え、LNG、石油、石炭、バイオ燃料など、さまざまな商品の実物および金融の卸売り取引に積極的に取り組む予定である。